



今日9月19日の新型コロナの感染者は、奈良県では22人でした。8月27日の最多(223人)時は、これからどうなるのか?と不安になりました。奈良県の新型コロナのワクチン接種状況は、9月17日現在、全世代、53%済みです。

11月末までに完了を目指す、とのこと。デルタ株の感染力の猛威。17日には3回目のブースター接種が容認されました。治療体制は、重症化を防ぐ抗体カクテル療法や治療薬の開発もすすんできているようですが、新型コロナの収束への見通しは、2～3年かかるといわれています。今後、感染者が減れば、奈良県でも行動制限の緩和策が講じられます。認証制度を活用した飲食クーポン券の発行(20万件・予算規模:7億5000万円)等です。人流が活発になれば、感染者が増え、冬には、第6波も懸念されています。

見通しが立たない中で、皆さんはコロナ疲れを感じておられないですか?

私は、県外へ出ない自粛生活は続けています。平日は事務局に(週4回程度)1時間以上かけ、バスと電車で通います。土日は買い物に出かける程度で、ほとんどが「おうち時間」です。事務局には、執行部がよく集まります。新着の情報共有と、何気ない日常の会話を交わします。お昼を共にすごすことで、「人と会えない、他人と話せない」ストレスは持たなくて済んでいます。(換気・手指消毒・検温・黙食に努めています。)おうち時間には、若かりし頃の癒し系の音楽、動画配信(セミナー、総裁選討論・知事会見・県議会のライブ配信、障がいのある人や、お母さんのYouTube配信)を視聴しています。その中の子育て中のお母さんの発信は、時を超えて共感できるものがあります。子育て動画を配信し、子供の特性・制度の説明、家族や関係者とのつながりなど、同世代へ発信されています。また、軽度知的障害者のユーチューバーが、「僕の事例を話します」と、特性と症状を発信されています。

- ・妄想と想像が強め
- ・相手からの強い言葉がうまく飲み込めない
- ・嫌いなことを避ける傾向
- ・相手に自分の意見を言うのが苦手
- ・ことばが上手く発せなかったり、よく噛む

とおっしゃっています。「知的障害のある人の意思決定のあり方」については議論中ですが、支援があればユーチューバーが出来るのですね、エールを送ります。他にも、難病の方の子育て奮戦記や、鉄道事故で下肢を切断された一人暮らしの男性の生活状況など、と様々な発信があります。過日の2020オリパラが東京で開催(多様性と調和をテーマ)されましたが、動画からも、たゆまぬ努力と可能性を実感させてもらっています。現在、啓発キャラバン隊「ならほんわか♡はーと」の皆さんが、疑似体験を含めて、学校訪問に向け、何度も打ち合わせをしています。特別支援の必要な生徒さんも同席する授業の中、生きづらさについてどう伝えるか、という課題も頂きました。これについては、学校や特別支援教育の先生方とお話し合いをしたいですね!!

コロナ禍で、私への癒しは、本が欠かせないですね! 週に1回は啓林堂書店に立ち寄ります。一夜で読み終えた本。タイトルは「お天道様は見てる・尾畠春夫のことば」です。尾畠春夫さんと言えば、2018年に山口県で失踪し行方不明だった2歳児を発見し、一躍「時の人」になったスーパーボランティアさんです。ライターの白石あづささんが尾畠春夫さんへの3年にわたる取材を通して「人生・家族・働く・死」について聞き取り、「コロナ禍で日本を元気にする82歳の人生のことば」としてまとめています。印象に残ったことばは「座って半畳・寝て一畳」「人生には、三つの坂がある、のぼり坂・下り坂・まさか」です。「まさか」を想定して生きておられます。生き抜くヒントが満載です。夢をもち、実践する尾畠春夫さん。人生の経験値・本質を見抜いておられます。本物です。宜しかったら読んでみませんか?本をお貸しします。手元に文藝春秋・沈黙パレード(東野圭吾)、実力も運のうち能力主義は正義か?(マイケルサンデル)並行して読み私時間を満喫しています。一方で今までの持っていた価値観は今後通じるのか?私とは何者か?問いかける心の作業もしています。これからの人生、終活への時期にも入りました。素の自分を認め、納得づくで生きていきたいと思う今日この頃です。

